

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

お客様本位の業務運営に関する取組状況

2024年4月～2025年3月



目次

取組状況

方針1	お客様の最善の利益の追求	3
方針2	利益相反の適切な管理	4
方針3	手数料等の明確化	5
方針4	重要な情報の分かりやすい提供	6
方針5	お客様にふさわしいサービスの提供	11
方針6	役職員に対する適切な動機づけの枠組み等	17
資料	運用成果の継続モニタリング	18

各方針の詳細については、当社HPに掲載の[「お客様本位の業務運営」について（全文）](#)をご参照ください。
各ページ左側の[方針](#)  をクリックしますと全文の該当ページが表示され、方針の詳細（**方針1-1**など）をご確認いただけます。

方針1

お客様の最善の利益の追求

原則2* 「顧客の最善の利益の追求」に対応

当社は、お客様に誠実・公正・忠実に業務を行い、お客様にとって最善の利益を追求してまいります。その為にあらず、目指すべき業務運営実践の基礎となる企業文化と高い職業倫理の共有を最も重要な経営課題として位置付けます。
また、「お客様本位の業務運営に関する取組状況」の作成に当たっては、専門部署ではなく**社内各部署横断的なプロジェクトチーム**を中心にすべての部署が参加し、全社的に取組状況についての振返りを行っています。

取組状況の振返り 方針1-1



お客様の最善の利益を追求することを経営上の最優先事項と位置づけ、高度な専門性と職業倫理の徹底により高品質のサービス提供に努めています。



イーストスプリング・グループでは、「**顧客満足度の向上**」を最重要課題として掲げ、人事面の施策に反映させるとともに、オペレーション及び運用戦略の高度化、お客様への情報提供の一層の向上に取り組んでいます。



当社及び当社グループの全役職員を対象としたタウンホール・ミーティングや研修を通じ、誠実・公正・忠実な業務運営の重要性を説明するなど、**お客様本位の業務運営が企業文化**として定着するよう働きかけを行っています。



全役職員に向けての月次のニュースレターを通じ、社長自らが経営陣の取組みや、各部の取組みについて情報発信を行い、全役職員の**エンゲージメント向上**に取り組んでいます。

*原則：金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」（2024年9月26日）の原則2～7との対応関係を示しています



方針2

利益相反の適切な管理

原則3「利益相反の適切な管理」に対応

当社は、お客様の利益を優先し、お客様の利益を害することがないよう業務を遂行します。そのため、利益相反管理に係る基本原則及び、利益相反の類型、利益相反の防止・管理のための手法、関係部門が果たすべき責務などを明確にした「利益相反管理規程」を定めるとともに、同規程等を定期的に見直すことによって、実効性のある、適切な管理体制を構築していきます。

取組状況の振返り 方針2-1



当社は、お客様の利益を最優先とすることを常に念頭に置き、「利益相反管理規程」に基づき、**利益相反の可能性のある取引**に対する管理を厳格かつ確実に実行することにより、**健全な業務運営**を継続しました。



<運用に関する利益相反管理>

- **運用委託先での利益相反**がないことを月次等で確認しています。
- スチュワードシップ委員会が、**スチュワードシップ活動**に係る**利益相反**を管理しています。
- 日本株の**議決権行使における利益相反**については、経営委員会で検証するとともに、プロダクトガバナンス委員会（2020年にファンド・ガバナンス委員会として設置）においてスチュワードシップ活動を監督する目的で、議決権行使結果を検証する体制を整備しています。



<ファンドに関する利益相反管理>

- ファンド諸経費に関し、社内ガイドラインの厳格な運用により適切に管理しています。
- 毎月開催するファンド経費ワーキング・グループにおいて、**ファンド諸経費をめぐる各段階**（契約、請求書受領、計上等）における妥当性等を報告あるいは承認しています。



<業務全般に関する利益相反管理>

- 接待・贈答、役職員自己取引、業務委託先・サービス提供業者の選定やモニタリング、CSR活動*など**様々な状況での利益相反**の管理を、グループのシステムも活用し、多角的・効率的に実施しています。
- その結果をもとに、当社の**利益相反管理全般の適切性**に関して、年次でリスク・コンプライアンス委員会において報告、確認を行っています。
- 2024年から利益相反管理に関して**グループ共通のリスク管理ツールの活用を本格化**させたことを受け、2025年3月に利益相反管理規程を改訂し、新たな管理方法を明確化しました。

*CSR（Corporate Social Responsibility）活動は、当社の社会貢献活動です。



当社が提供する投資信託商品については、お客様が負担される手数料その他の費用の詳細を、目論見書や販売用資料等において開示します。当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、お客様にとって分かりやすいような開示に努めます。

取組状況の振り返り
方針3



当社は、目論見書や販売用資料などにおいて、**お客様が負担する手数料その他の費用の詳細**を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め分かりやすく開示しています。



開示情報の充実を目的に、運用報告書で開示している**総経費率**を、**目論見書でも記載**しています。ファンド本体だけでなく、投資対象とする外国投資信託の費用の詳細を確認し、正確かつ適切な開示を行っています。また、費用項目については、お客様に分かりやすいよう、出来る限り詳細に情報開示しています。目論見書での開示開始以降、用語の統一を図り、対象期間を明確にするなど、お客様に分かりやすく正確な開示を心がけています。

方針3
手数料等の明確化

原則4「手数料等の明確化」に対応

【ファンドの費用】

ファンドの費用>			
投資者が直接的に負担する費用			
購入時手数料	3.85%(税抜3.5%)を上廻りとして販売会社がそれぞれに定める率をお申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額とします。 購入時におけるファンドや関連する投資業務の説明および情報提供、購入に関する事務手続き等の対価として、販売会社にお支払いいただくものとします。		
信託財産留保額	最後の受付日の翌営業日の基準価額の0.3%の率を乗じて得た額とします。		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
運用管理費用 (信託報酬等)	純資産総額に対して年率1.3497%(税抜1.227%) 計算期間を通じて毎日費用として計上され、日々の 基準価額に反映されます。信託財産からは毎 計算期末または信託終了時に支払われます。		信託報酬率 運用期間中の基準価額×信託報酬率
当ファンド①	<当ファンド①の配分>		
	委託会社	年率0.5500%(税抜0.500%)	委託した資金の運用の対価
	販売会社	年率0.7700%(税抜0.700%)	購入後の情報提供、運用報告書等各種 書類の送付、口座内でのファンドの管理 および事務手続き等の対価
	受託会社	年率0.0297%(税抜0.027%)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託 会社からの運用指図の実行等の対価
投資対象とする 投資信託証券②	年率0.60%程度		
	実質的な負担 (①+②) 年率1.9497%程度(税込)		
その他の費用・ 手数料	信託事務の処理等に要する経費用(経費費用、目論見書および運用 報告書等の印刷費用、公告費用等)は、純資産総額に対して年率 0.10%を上廻りとする額が毎日計上され、日々の基準価額に反 映されます。信託財産からは6月および12月の計算期末または信託終了 時に支払われます。また、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、 外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等 についても信託財産から支払われます。		監査費用 監査法人等に支払うファンドの監査に かかる費用
	「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に 料率・上限額等を表示することができません。		売買委託手数料 有価証券等の売買の際、売買仲介人 にお支払う手数料
			保管費用 有価証券等の保管等のために海外銀行 にお支払う費用
※投資者のみなさまが負担する費用の合計額は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。			

【ファンドの総経費率】

《参考情報》ファンドの総経費率

対象期間：2024年6月18日～2024年12月16日

総経費率(①+②)	①運用管理費用の比率	②その他費用の比率
1.76%	1.35%	0.41%

※対象期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)を対象期間の平均受益権口数に平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した値(年率)です。
※その他費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みます。
※投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体的版)をご覧ください。



当社は、お客様に、当社の運用する商品や戦略を正しく理解していただけるよう、重要な事項に関する適切な開示に努めます。また、お客様のニーズに合わせた、より付加価値の高いサービスや情報の提供を目指します。

取組状況の振返り

方針4-1、方針4-2、方針4-5



販売会社が作成する重要情報シートにおいて、**お客様が他の金融商品と比較することが可能となるよう**、過去の収益率、リスクの内容、手数料などについて情報提供を行っています。



販売会社の営業担当者に対して商品や市場を正しく理解していただけるよう**運用者による勉強会や保有銘柄の全銘柄開示**を行っています。

例：

運用担当者などによる販売会社向け勉強会

- 2024年7月 インド運用拠点の最高投資責任者や、インド消費関連ファンドおよびインド・インフラ株式ファンドの投資助言担当によるインド株式勉強会
- 2024年11月および2025年3月 運用担当者によるジャパン中小型厳選バリュー株ファンド勉強会

四半期毎にジャパン中小型厳選バリュー株ファンドの保有全銘柄を開示

方針4

重要な情報の分かりやすい提供

原則5「重要な情報の分かりやすい提供」に対応



取組状況の振り返り 方針4-3

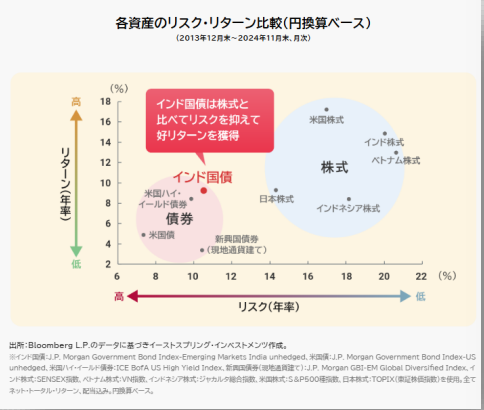
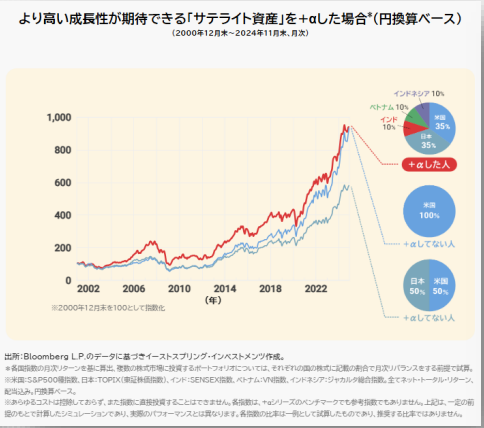
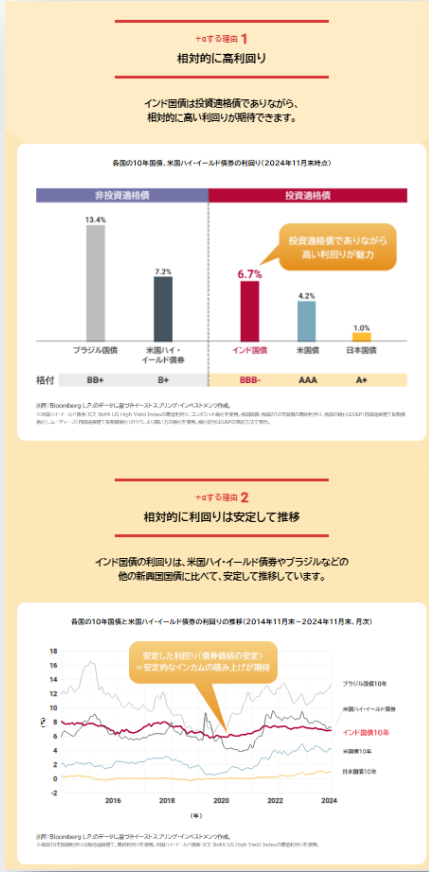


2025年2月28日設定の新ファンド「イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）愛称：+αインド国債（プラスアルファインド国債）」を含む、オンライン専用・低コストアクティブファンドシリーズ「+αシリーズ」のWEBサイトでは、投資対象となる市場について、その魅力だけでなく、リスク・リターンと比較など、**投資判断に際して重要な情報を分かりやすく提供**しています。また、**長期資産形成のポイントや積立シミュレーション機能**など、長期投資の重要性について理解を深めていただけるよう工夫しています。

方針4

重要な情報の分かりやすい提供

原則5「重要な情報の分かりやすい提供」に対応





取組状況の振り返り 方針4-3



お客様向け販売用資料では、常にお客様の目線に立って、**情報の分かりやすさを追求**しています。
改訂時には、データ更新だけではなく、都度内容を再検討し、デザインを一新するなどの工夫を行っています。

例：イーストスプリング・インド消費関連ファンド 販売用資料

方針4

重要な情報の分かりやすい提供

原則5「重要な情報の分かりやすい提供」に対応

視覚的にイメージしやすい写真などを活用
銘柄紹介では、単なるデータ解説にならないよう、
業界動向の情報も合わせてご紹介

(2024年11月改訂)



(2024年5月改訂)



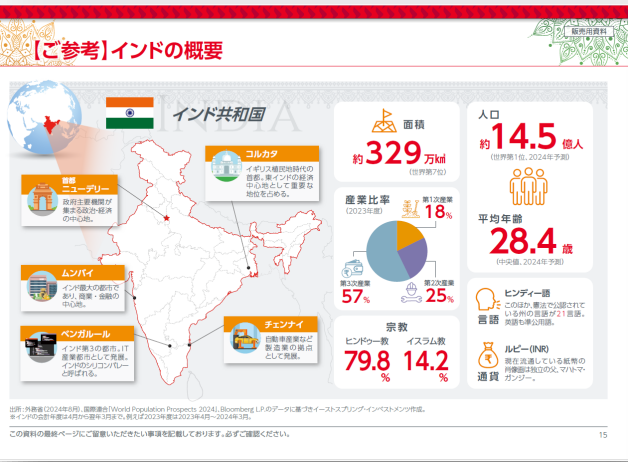


取組状況の振返り 方針4-4



お客様向け販売用資料では、投資対象国の情報やリスク要因、市場の特性なども分かりやすく情報提供しています。

インドの概要をキーワードで分かりやすくご紹介



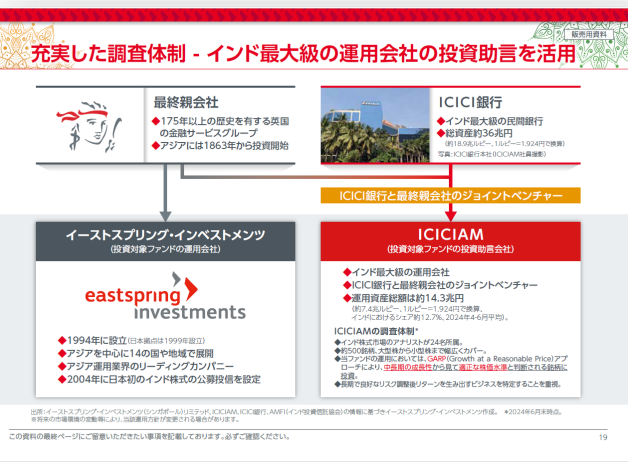
リスク要因として重要なインフレについて解説



方針4 重要な情報の分かりやすい提供

原則5「重要な情報の分かりやすい提供」に対応

運用に特徴があるファンドでは運用体制をご説明



銘柄選定に特徴がある日本株ファンドは全銘柄をご紹介





臨時レポート

「レッド・スウィープの可能性：
アジアと新興国市場への影響」
(2024年11月7日)

原則5「重要な情報の分かりやすい提供」に対応



- ・ 2024年6月 インド下院総選挙直後のインド株式市場急落時
- ・ 2025年3月 年初来のインド株式市場下落局面



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

当社は、資産運用のプロフェッショナルとして、高度な専門性と豊富な知見を活用し、お客様の長期的な資産形成に貢献するための運用商品を提供します。また、お客様からお預かりした資産に関する運用リスク管理と適切なモニタリングを通じて、運用商品の品質の維持と向上に努めます。

販売会社が当社の提供する金融商品・サービスの販売・推奨等を行う際には、お客様の資産状況、取引経験、知識および投資目的・ニーズを十分に把握し、適切な提案を行うよう販売会社に要請します。また、機関投資家のお客様に対しても、お客様の投資方針や資産運用ニーズを十分に把握した上で、適切な運用戦略の提案を行います。

なお、当社では直接個人のお客様に対して金融商品・サービスの販売・推奨等は行っておりません。

取組状況の振返り

方針5



プロダクトのライフサイクルを通じたガバナンスの一環で、新プロダクトの組成前から、組成後のモニタリングに至るまで、様々な観点から検証を行い、**お客様にふさわしいプロダクトの提供**に努めています。詳細は[「プロダクトガバナンスに関する取組方針」](#)をご参照ください。



当社では運用委託先で行われるスチュワードシップ活動の実施状況についてモニタリングをしています。また、日本株式については、日本版スチュワードシップ・コードに則り、議決権行使結果（個別開示を含む）の公表、及び、当社グループにおけるスチュワードシップ取組方針等の実施状況に関する自己評価の公表をウェブサイトにて行っています。



販売会社とのコミュニケーションの内容を社内で迅速に共有するほか、運用委託先にもお客様のニーズを直接伝えることで、**相互の理解を深め、お客様のニーズに沿った投資信託の提案、推進が迅速に行える**ように努めています。



機関投資家に直接運用戦略の提案、紹介を行う際には、過去の運用実績のみならず、**投資哲学、組織体制、運用プロセスなどを十分に説明**することで、お客様の投資方針や運用ニーズに合致していることを確認しています。



投資信託の運用に係るお客様のコスト負担については、商品開発時から運用開始後も継続的に妥当性について検討し、**透明性の高い管理体制**を維持しています。



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

取組状況の振返り 方針5-1、方針5-2



販売会社における金融商品・サービスの販売・推奨の際に、お客様のご意向に沿った具体的な提案や、類似商品・サービスなどとの比較が可能となるよう、情報提供を行っています。

例：

- 販売会社が作成する重要情報シート向けの情報提供
- お客様へのフォローアップとして、自社コールセンターや販売会社を通じたお問い合わせ対応

取組状況の振返り 方針5-3、方針5-4



低コストアクティブファンドの設定：

お客様のニーズに応え、**オンライン専用・低コストアクティブファンド・シリーズ初の債券ファンド「イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）愛称：+αインド国債（プラスアルファインド国債）」**を2025年2月に設定・運用を開始しました。



新たなプロダクトの組成にあたっては、運用目的や想定する投資家層、お客様のニーズなど、様々な観点から検証を行っています。また、商品性や想定する投資家層といった、お客様の最善の利益を追求するにあたり重要となる情報や当社のプロダクトガバナンス体制について、販売会社に情報共有しています。詳細は「[プロダクトガバナンスに関する取組方針](#)」をご参照ください。



方針5

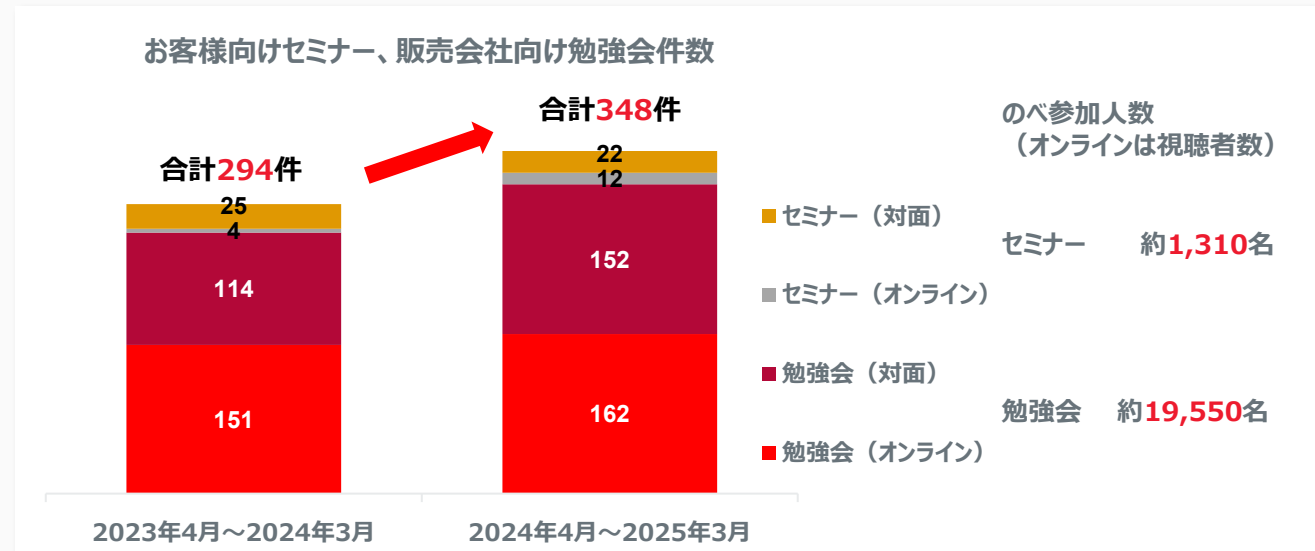
お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

取組状況の振返り 方針5-5



お客様、販売会社向け情報提供のため、対面、オンラインを活用したセミナー、勉強会を積極的に実施しています。



投資対象地域や市場環境などについて理解と関心を深めていただき、投資判断の一助としていただけるよう、様々な情報・レポートを当社[ウェブサイト](#)・[YouTube](#)より発信しています。

情報提供資料の例（2024年4月～2025年3月）	件数
インドネシア・ウィークリー	50
インド投資マンスリー	12
インド投資マンスリー（動画）	12
スペシャルレポート	56



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

取組状況の振返り 方針5-5



[イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 – YouTube公式チャンネル](#)では、インド現地の市場環境やインド株ファンドの運用状況振返りなど、様々な情報を定期的に配信しています。また、[X \(旧Twitter\)](#)では、レポートや動画配信時にアナウンスも行っています。

例： YouTube インド投資マンスリー2025年1月号
(インド運用拠点CIOが語るインド株式市場2024年の振返りと2025年の見通し)



例： YouTube 「インド・インフラ株式ファンド」のご紹介





取組状況の振り返り
方針5-5



「スペシャルレポート（計56本）」で、**専門性の高い情報**を提供しています。

例：「サプライチェーンを再構築する新たな要因：投資機会の考察」
（2024年5月16日）



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

例：「2025年の市場展望 アジアと新興国市場：潮目が変わる中での投資機会」
（2024年12月10日）





取組状況の振返り 方針5-6、方針5-7



新たなプロダクトの組成にあたっては、**運用目的や想定する投資家層、お客様のニーズなど、様々な観点から検証**を行っています。また、商品性や想定する投資家層といった、お客様の最善の利益を追求するにあたり重要となる情報や当社のプロダクトガバナンス体制について、販売会社に情報共有しています。詳細は[「プロダクトガバナンスに関する取組方針」](#)をご参照ください。

方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応



方針6

役職員に対する適切な動機づけの枠組み等

原則7「従業員に対する適切な動機づけの枠組み等」に対応

当社は、お客様本位の業務運営を行うため、投資運用業に係る意思決定プロセスを明確にし、適切なガバナンス体制を整備します。コンプライアンス・マニュアル、利益相反管理規程をはじめとする社内規程について適宜見直しを行い、法令等遵守及び内部管理に係る方針・社内体制を整備します。

取組状況の振返り 方針6-1



当社では、全役職員が研修、ワークショップを通じ、「お客様本位の業務運営」を中心とする企業文化の醸成・浸透を図ると共に、エンゲージメント向上につながる取組みに積極的に参加が出来る環境づくりを行っています。

実施した研修等

- 全役職員対象の全体会議（タウンホール・ミーティング）（8回）
- 当社の行動指針であるバリューに関するワークショップ
- 企業文化についてのセッション
- 年次広告審査研修
- 2024年度のコンプライアンス研修（年2回。10テーマ）
利益相反、お客様本位の業務運営、内部者取引、役職員個人証券取引、贈収賄及び接待贈答、事故報告、マネーロンダリング、苦情及び紛争処理、個人情報管理、文書管理
- 情報セキュリティに関する研修
- マネジャー対象のリーダーシップ研修
- 全役職員対象のChange Workshop（変化に対応するための研修）
- CSR活動* Prudence Foundation（英国本社 PrudentialのCSR部門）と共に、日本赤十字社を支援
- CSR活動* 「木づくりプロジェクト」を開催



お客様本位の業務運営への取組みとして、下記の人事評価制度を採用しています。

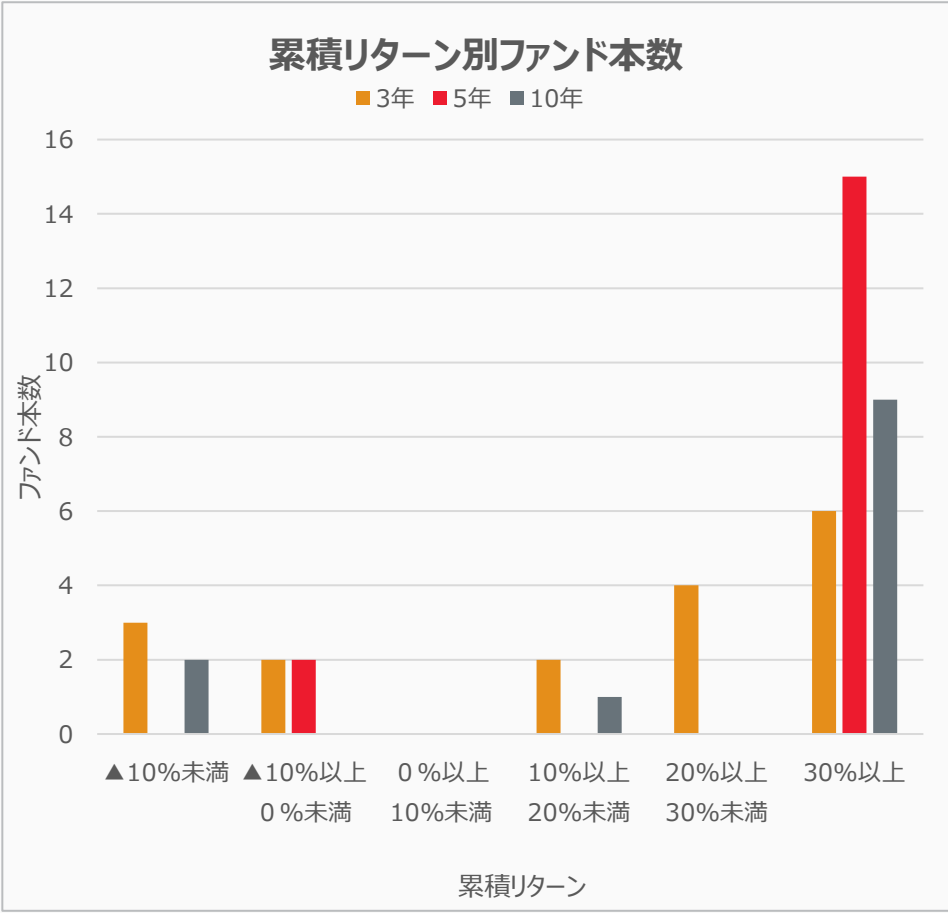
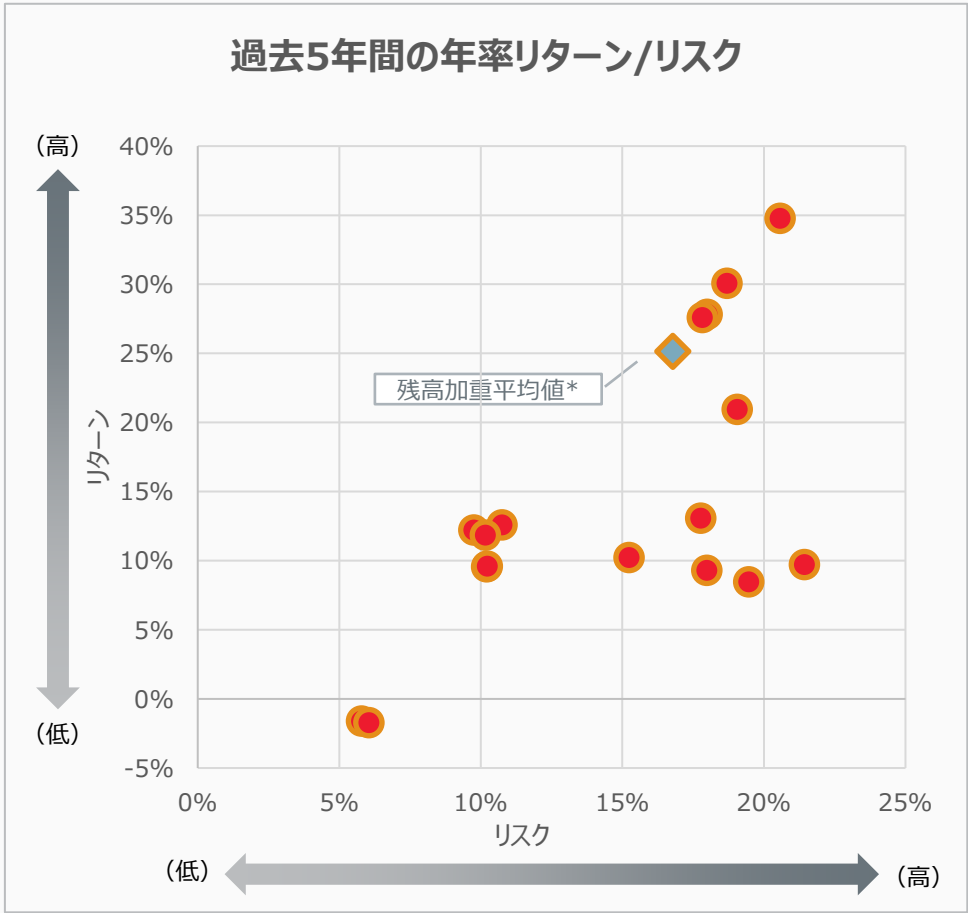
- 毎年各人の目標としてお客様本位の業務運営、当社の行動指針であるバリューを設定
- 目標設定の際に定量目標と定性目標の適正配分を毎年継続的にレビュー
- 業績評価と共にお客様本位の業務運営に関する取組みについても相互に評価し、理解と実行を促進

*CSR（Corporate Social Responsibility）活動は、当社の社会貢献活動です。



資料 運用成果の継続モニタリング（2025年3月末時点）

過去5年のリターンにおいては、対象ファンド17本中15本がプラスのリターン、2本がマイナスのリターンとなりました。
過去10年のリターンでは、対象ファンド12 本中10本がプラスのリターン、2本がマイナスのリターンとなりました。



*残高加重平均値：対象ファンド17本の2025年3月末時点における純資産総額に基づき、リスクとリターンを加重平均したものです。リスク16.8%、年率リターン25.2%となりました。
当社では、運用成果（パフォーマンス）は、お客様が当社の運用サービスを評価する上で最も重要な指標と考え、継続的なモニタリングを行っております。
上記グラフは、金融庁の定義する比較可能な共通KPI（成果指標）の考え方に基づき算出したものです。



資料 運用成果の継続モニタリング（ファンド一覧）

2025年3月末時点												
ファンド名		設定日	信託報酬 (実質的 な負担、 %)	3年			5年			10年		
				リターン		リスク	リターン		リスク	リターン		リスク
				累積	年率換算	年率換算	累積	年率換算	年率換算	累積	年率換算	年率換算
1	イーストスプリング米国高利回り社債オープン	2003/01/30	1.815	32.9%	10.0%	10.8%	77.7%	12.2%	9.8%	69.7%	5.4%	10.4%
2	イーストスプリング・インド株式オープン	2004/09/30	1.9497	43.9%	12.9%	16.6%	240.8%	27.8%	18.0%	124.5%	8.4%	19.9%
3	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン（毎月分配型）	2006/03/30	1.76	27.7%	8.5%	17.6%	84.7%	13.1%	17.8%	42.4%	3.6%	18.1%
4	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2006/11/08	1.9497	63.5%	17.8%	18.1%	344.1%	34.7%	20.6%	190.0%	11.2%	21.8%
5	イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン	2007/06/29	1.688	-4.5%	-1.5%	15.2%	62.6%	10.2%	15.3%	14.4%	1.4%	16.6%
6	イーストスプリング・インド株式ファンド（3ヵ月決算型）	2007/12/18	1.9497	44.0%	12.9%	16.5%	237.9%	27.6%	17.8%	124.2%	8.4%	19.7%
7	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2008/05/30	1.9497	55.2%	15.8%	15.7%	271.8%	30.0%	18.7%	200.3%	11.6%	20.4%
8	イーストスプリング・インドネシア株式オープン	2009/11/30	1.888	-15.4%	-5.4%	18.7%	58.8%	9.7%	21.4%	-23.4%	-2.6%	23.8%
9	イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）	2012/02/29	1.649	20.2%	6.3%	11.2%	80.7%	12.6%	10.8%	57.9%	4.7%	12.1%
10	イーストスプリング・フィリピン株式オープン	2012/09/28	1.775	-1.8%	-0.6%	18.2%	49.9%	8.4%	19.5%	-24.5%	-2.8%	20.0%
11	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	2014/08/08	1.683	65.4%	18.3%	16.4%	158.4%	20.9%	19.1%	126.7%	8.5%	19.7%
12	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）	2015/02/10	1.694	24.0%	7.4%	10.9%	57.6%	9.5%	10.2%	63.1%	5.0%	11.0%
13	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）	2015/04/10	1.694	24.1%	7.5%	10.9%	58.0%	9.6%	10.2%			
14	イーストスプリングU S投資適格債ファンド・為替ヘッジ付（毎月決算型）	2016/05/10	0.993	-10.8%	-3.7%	6.1%	-7.8%	-1.6%	5.8%			
15	イーストスプリングU S投資適格債ファンド・為替ヘッジ付（年2回決算型）	2016/05/10	0.993	-10.6%	-3.7%	6.4%	-8.4%	-1.7%	6.1%			
16	イーストスプリング・インドネシア債券オープン（年2回決算型）	2018/02/28	1.649	19.4%	6.1%	10.6%	74.9%	11.8%	10.2%			
17	イーストスプリング新興国スタープレイヤーズ	2018/10/26	1.98	13.6%	4.3%	18.0%	55.9%	9.3%	18.0%			

※信託報酬は、本資料作成時点の料率（税込み）を記載しています。

＜当社が設定・運用する公募投資信託の運用実績について＞

上記は、当社が設定・運用する公募投資信託の内、2025年3月末時点で運用期間が3年経過したファンドについて表示しています（募集終了したファンドを除きます）。リターンは、各ファンドの基準価額（課税前分配金再投資）のデータを使用し計算しています。ただし、購入時手数料や信託財産留保額は含まれません。したがって実際の投資家リターンとは異なります。リスクは、同基準価額の日次騰落率の標準偏差を年率換算しています。また、運用期間がそれぞれの計測期間に満たないものは、斜線で表示しています。上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。ファンドのリスク及び費用の詳細は各ファンドの目論見書をご覧ください。

当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、お客様本位の業務運営に関する取組状況をお知らせすることを目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料あるいは情報提供資料でもありません。